

2020年12月14日 健康福祉委員会（市長質問）

○西委員 皆さんお疲れさまです。堺創志会、西でございます。市長に質問させていただきたいと思いますが、保育施策については、また陳情審査の中で局長とも認識について議論させていただきたいと思いますが、1点だけ。市長が思われてるのは、この間からの審議を聞いてると、新しくつけるものを削らざるを得ないというふうにおっしゃってるわけですが、対象者の皆さんにとっては、もう予想されているものを削られると、つけるものをなくすんじゃないくて、あるものが削られるって、この認識に大きなギャップがありますので、そのところはこれからもぜひよろしくお願ひしたいと思います。これの続きは陳情審査でやらせていただきます。年末年始の医療体制についてということで通告をさせていただいてますが、今現場の皆さん、もう言うまでもないですが、コロナウイルス感染症の拡大が起きている中で本当にしんどい思いをして、現場の皆さんも私たまたま知人もいますので、非常にしんどい思い聞きますけれども、現在の受診相談、医療体制、どのようになっているかをお示しくください。

○河盛健康医療推進課長 現在の受診相談、医療体制ですけれども、医療機関への受診につきましては、保健所の受診相談センターに連絡をし受診をするようにしておりましたが、問合せ等が受診相談センターのほうに集中したということで、電話がつながりにくい状況となってございました。そのため、11月から保健所の受診相談センターを通さず、かかりつけ医等の近隣の診療所に事前に電話等で連絡をしていただくから受診をしていただくように変更をしました。かかりつけ医がないなど受診先が見つからない場合に限りまして、これまでどおり受診相談センターに電話をしていただくようにしてございます。また、受診先が見つからないといった声もこれまでに聞かれましたことから、市内医療機関の理解と協力を得まして、PCR検査も実施ができます発熱外来を市内61か所に設け、受診相談センターから紹介をするなど、受診先となる医療機関数の増加のほうにもつながってきたところでございます。以上です。

○西委員 現場の皆さん今本当に必死で頑張っただいていて、限られた人的資源の中で本当に必死でしんどい思いしながら頑張っただいて、市長もいろいろと人の配分、資源配分頑張っただいてると思いますが、それはよくよく分かった上で、それでもまだまだ頑張っただいて現場に対して配分をぜひよろしくお願ひしたいと思いますが、こんな中で不安になるのが、もう12月14日になりますけれども、年末年始、本当にこのコロナも増えてくる中で、コロナだけじゃなくて、ほかにもいろんな年末年始様々な健康の心配出てくると思います。普通に例年どおりでいけば、やっぱり医療機関多くは閉まっていてという状況の中で、診療時間も増えている中でどうされるんだろうと心配になるわけですが、どうなりそうでしょうか。

○河盛健康医療推進課長 議員御指摘のとおり、年末年始には休業する医療機関が多いため、急病診療センターのほうを開設しております。例年どおり中学生以下の方はこども急病診療センター、それ以外の方は泉北急病診療センターのほうで受診をすることができます。今年におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けまして、例年より患者数の増加や診察時間の増加などにより医療機関側の負担が増し、医療体制のほうを逼迫するおそれがございます。そのため、堺市医師会主催のプロジェクト会議等を通じまして、年末年始の診療体制確保のため、市内医療機関に対し年末年始の開業に協力要請をしてきました。受診相談センターは年末年始におきましても通常どおり開設をしてございますので、受診先が見つからない場合などにつきましては、連絡をしていただきたいというふうに考えております。以上です。

○西委員 逼迫するおそれがあるとおっしゃいましたが、ほぼほぼ非常に危機的状況にあることは想像に難くないというふうに私は思っています。診療時間も増えている中、定量的なデータは持ち合わせていませんが、聞くところによれば、救急隊の搬送時間も発熱患者に対する対応のために非常に時間が例年よりはるかに拡大をしている、1人当たりの時間ですね、拡大をしていると聞いていますので、医療資源に本当に集中的にいろんな負担がすごいかかるんじゃないかと思うわけですが、そもそもお聞きをしていきたいんですが、別に私コロナだけが気になってるわけではありませんが、年末年始のPCR検査の体制についてまずお聞きをします。どうですか。

○河盛健康医療推進課長 検査のほうでございしますが、まず衛生研究所につきましては、年末年始におきましても通常どおりPCR検査を実施できる体制のほうを整えてございます。また、現在の感染状況を踏まえまして、少しでも多くの医療機関におきまして、年末年始でも検査を実施できる必要があるというふうに考えてございます。民間検査機関やPCR検査機器のほうを所有をします複数の医療機関に依頼をしまして、検査を実施できる体制のほうを構築をしてございます。年末年始に向け、引き続き医療また検査体制の充実のほうを図っていきますけれども、市民の皆様には手洗いやマスクの着用、また3密回避などの感染予防対策をしっかりと取っていただきまして、体調管理なども含めてしっかりしていただくことで、医療機関の負担軽減に御協力をいただくようお願いをしていきたいというふうに考えております。以上です。

○西委員 PCR検査ですね、本当に聞くところによれば、堺市は大阪府下の中でも非常に早い時間で週末もやっていただいているということで、非常に市長も資源配分頑張っただいて、そして現場の皆さんにも本当にしんどい思いしながら頑張っただいてるというふうに理解をしておりますが、しかしながら、その現場に酷なことを求めるのは本当に恐

縮んでなかなか言いづらいですが、市民の皆さんからすればやっぱり不安な状況をいち早く解消してほしいということもありますので、引き続き足りてないとは一切申し上げる気はありませんが、資源配分をさらにお願ひしておきたいと思いますが、この年末年始、先ほど申しあげましたコロナ以外にも様々な医療課題出てくる時の医療体制について厚労省から通知といひますか、対応について文書が出てるといひますが、御紹介ください。

○河盛健康医療推進課長 今委員のほうもお示しいただいてるんですけども、12月2日付で厚生労働省のほうから年末年始に向けた医療提供体制の確保に関する対応についてという事務連絡のほうが出てきています。それによりますと、都道府県及び保健所設置市に対して地域の医療機関や医師会などと連携した十分な診療体制を確保することや、通常どおりに受診相談センターを開設することなど、年末年始に必要な医療提供体制を確保するよう記載はされています。本市におきましては、この事務連絡に基づきまして、年末年始における必要な医療体制の確保に取り組んでいるところでございます。以上です。

○西委員 このように厚労省から文書が出ている、事務連絡が出されているということでありまひ。いろいろと先ほども御答弁いただひてますが、平場での議論も含めて、まだまだこれ頑張っただひている途上なんだなというふうにいひざるを得ません。皆さんの努力が足りないなんていうのは全く思っただひせんけれども、いろんな諸条件の中で本当に安心して年末年始を迎えられるのかなという不安は、まだまだ市民の中にあるというふうにいひざるを得ないわけでありまひ。いろいろと大変な状況でありまひ。市長もお忙しい中とは思ひますが、やっぱりもうあと15日もないぐらいですから、この確保に向けて市長にリーダーシップを取っただひて医療確保、安心できるような状況に何としても近づける、ぜひお願ひしたいと思ひますが、いかがですか。

○永藤市長 年末年始の体制につきまして、私も非常に懸念をしておひまして、11月の段階で担当職員には年末年始の体制を整えるようにという指示をしておひまひ。大阪全体の医療体制につきましては、大阪府が今中心に行っただひまひますが、堺市も連携をしながら、受診体制、さらに市民の皆さんが安心できるような体制というのを構築したいと思ひておひまひ。職員の年末年始の出勤体制というものも今検討しておひまして、職員も御家庭がある中で年末年始申し訳ないと思っただひるんですけども、やはり市民の皆様の暮らしと安全を守るためにここは頑張っただひしいと思っただひまひ。そして、やはり体制が整っただひいるというのが、もちろん見えないところでも努力はあるんですけども、やはり年末年始というのは市民の皆さんにとっただひ特別な期間ですので、きちんとその相談体制があると、こういうところに連絡してくだひさいということが伝わるように情報発信も注力していきたく思ひておひまひ。

○西委員 ぜひお願ひをしたいわけでありまひ。先日、池尻委員長と青谷副委員長の御尽力

で、健康福祉委員の皆さんとそれから医師会の先生方との意見交換という場所がありましたけれども、残念ながら、非常にここで言うの気が引けるわけですが、やっぱり医師会の先生方、もっともっと連携が必要であると、特に現場の皆さんとの連携はいろいろあるけれども、やっぱりトップリーダーの皆さんと、市長、副市長の皆さんとしっかりと連携をしていくことをもっともっとやっていかなくてはいけないというような趣旨のお話をされていたように私は感じています。そういった中で、この間、近隣の近畿の市長さん何人かとお話ししましたけれども、本当に厚労省、好きなこと言ってなど、市長さんによっては怒っておられまして、中央で言うだけで現場任せ過ぎると、そういう怒りも含めて、実は市長からちょっと欲しかったところではありますけれども、現場にやれやれと言われてるのは、この内容で私も含めて怒りも含めて感じるわけではありますが、しかしながら、こう言われてしまった以上仕方がない部分はありますので、ぜひ市長が積極的に、お忙しい中とは思いますが、やっぱり医療機関の皆さんのモチベーションも含めて、いろいろと頑張ってくださいと思いますので、ぜひ市長がトップセールスではありませんけれども、積極的に動いて、何としても安心を1つでも2つでも増やしていく、連携をしながら、いろんなお話をしながら安心をつくっていく、そのためにあと十数日、御尽力いただくことをお願いして、質問を終わります。ありがとうございました。